

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	若者活動サポートセンターあおぞら
活動テーマ	支えあい助けあう心を紡ぐ場づくり活動



この活動の目的は、①平成 26 年・平成 30 年の土砂災害で傷ついた被災者・避難者の心に寄り添い、孤立を防ぐこと、②2度の被災から学んだ減災の肝＝日々の支えあい助け合う関係の作り方を伝え、次の災害に備えることでした。この目的を達成するために、西区・安芸区・安佐北区で活動しました。

心に寄り添うためのお茶会サロンは、西区と安芸区で 10 回開催しました。

西区でのお茶会サロンは、昼食交流として一つのテーブルを囲み、みんなで体にやさしい昼食をとりました。また、講師を招聘し、心の声をだし、ほっとできる企画を準備。明日へ歩む活力を見つけるため、被災者といろいろな人の出会いの場をつくる等の活動を行いました。安芸区のお茶会サロンは、初めての開催でした。西日本豪雨災害から 1 年足らず、これから復興が始まろうとする地域で、被災者同士が思いや不安を語り合う時間に約 80 名の方が集まりました。

また、災害に備えること、メンタルケアの必要性を確認し合う「被災から学んだ支え合いの糸をつむぐ研修会」を、安芸区と安佐北区で開催しました。臨床心理士や交流ワークショップの専門家を交え、互いの経験をこれからの暮らしの安全に活かすために、必要なことを考えました。安芸区では、互いの思いを傾聴することの大切さを確認し、安佐北区では、お茶を飲みながらゆったり語りあい、5 年たった後の心の痛みを共有しました。

被災のダメージから次の一歩を踏み出すスピードは、人それぞれです。今回の活動で、それを改めて確認しました。これからも息長く活動を続け、ともに同じ方向を向きながらこころの復興の道をとともに歩んでいきたいと思います。